

閉会あいさつ

地域経済研究推進協議会会長 堀内日出夫



本年度から当協議会会長を仰せつかっております中国経済連合会専務理事の堀内でございます。

本日は、竹内佐和子先生のご講演をはじめ、広島大学地域貢献研究推進事業の成果報告を兼ねての研究報告と意見交換をお聞かせいただきました。いずれも非常に意義深いものであったと思います。

広島とその周辺の地域経済につきましては、最近になっていくつか明るい材料も見られますが、全般には依然として厳しい状況にあります。そういったなかで新たな活路を見つけ出していくためには、竹内先生のお話にありましたように、独自の「モノサシ」でもって地域の資源を一つずつ点検していくことが大事だろうと思います。

こういった作業は、もちろん経済界が地方公共団体などと連携しながら主体的に取り組んでいかななくてはならないのですが、大学の参加・協力を欠くことはできません。よく産学官連携といわれますが、これは理工系分野に限定されるものではありません。現在のように地方分権が進められ、地域経済の自律的發展が求められるなかにあっては、地域の知的資源をいかに総合的に活用していくかということで、地域と大学の関係がますます重要になっています。広島大学地域貢献研究推進事業も同じ流れの中にあるのだらうと思います。

広島大学地域経済システム研究センターは、経済学をはじめとする社会科学分野における地域と広島大学との窓口になっていただいております。また、地域経済研究推進協議会はその応援団ともいうべき立場にあります。

今後ともセンターと当協議会の活動につきまして、一層のご理解・ご支援を賜りますようお願いして、簡単ではございますが、閉会のあいさつとさせていただきます。本日はほんとうにありがとうございました。